２０２６年１１月６日

その他

【重要】ニセ警察詐欺にご注意ください

最近、警察官を名乗る人物から電話があり、「あなたの口座が犯罪に使われている」「逮捕状が出ている」などと不安をあおり、金銭をだまし取る「ニセ警察詐欺」が多発しています。ご年配の方だけでなく、２０～５０代の幅広い世代で被害が確認されています。

●主な手口の例

①突然の電話連絡

固定電話や携帯電話、国際電話番号（「＋」から始まる番号）から連絡が入ります。

②ＳＮＳ・ビデオ通話への誘導

ＬＩＮＥなどのビデオ通話へ誘導され、偽の「警察手帳」や「逮捕状」を提示されます。

③金銭の送金要求

「身の潔白の証明」や「資金調査」を名目に、指定口座への振込や暗号資産の送金を求められます。

●被害に遭わないために

・警察がＳＮＳやビデオ通話で連絡・取調べをすることは絶対にございません。
・警察が警察手帳や逮捕状の画像を送付したり、捜査名目で金銭の支払いを指示したりすることはございません。
・国際電話の休止手続きや、防犯アプリの導入が被害防止に有効です。

相手が警察を名乗っても、金銭の話が出た際はすぐに応じず、速やかに最寄りの警察署へご相談ください。

以　上

ホンモノの警察はSNSで連絡しません

ニセ警察詐欺に注意

警察官をかたり、捜査などの名目で、犯人が指定する方法で送金をさせ、金銭をだましとる特殊詐欺被害が多発しています。



実際に使われたニセ警察官の画像
（画像の一部を加工、警視庁提供）

ニセモノの警察官から連絡
SNSでの連絡を指示される

「あなたを逮捕する」
警察手帳や逮捕状などの画像が送信される

金銭を要求
「捜査のため、あなたの資産を調べます」
「〇〇の口座に振込（送金）をしてください」

被害発生

- ◆ 警察は SNSで連絡することはありません
- ◆ 警察は 警察手帳や逮捕状など画像を送ることはありません
- ◆ 警察は 捜査等の名目で金銭を要求しません

⚠ **相手が警察官でも 金銭の要求は詐欺を疑いましょう。**

警察庁 National Police Agency

愛知県警察